

戦没者追悼式及び
平和の塔祈念式
について



高瀬 重嗣 議員

質問…慰霊の継承をどのように行っていくのか。

答弁…市内在住の遺族の方々も高齢化するとともに、年々減少している。大田原市平和の塔管理委員会や大田原市遺族連合会の動向に歩調を合わせていく。

質問…日程や開催方法を考慮し、児童生徒もできるだけ参加できるようにすべきと考えるが、市の見解は。

答弁…教育委員会の意向を踏まえて、実施可能なものか協議していきたい。

質問…提案だが、戦没者追悼式には、慰霊とともに平和教育の一環として児童生徒にできるだけ参加してもらおう。一部代表者は追悼式に参加し、市長、議長、遺族会とともに追悼の言葉を実際に担当してもらおう。式典に参加しない児童生徒も中継された

映像とともに追悼に参加する。自分自身の生活圏や先祖につながる方にかつて戦没者がいらしたという距離的、血縁的な実感を持つてもらおう。児童生徒の参加を促す施策は、将来にわたる慰霊の継承に極めて有益であると考えるが。

答弁…今後市長部局と協議してまいりたい。

一般質問



本澤 節子 議員

農・林業振興について

質問…有機農業推進の意義について伺います。

答弁…有機農業は、農薬や化学肥料を使用しないことで、より安全、安心な農作物を消費者に提供できるため推進すべき農法とは考えておりますが、慣行栽培に比べて除草作業や病害虫防除などの管理作業の優劣が収穫を大きく左右することになり、農業経営に影響を及ぼす恐れが

ありますので、個々の農家の経営方針を尊重したうえで推進してまいります。

質問…学校給食に有機栽培米の使用を。

答弁…本市、小・中学校の学校給食において無農薬有機栽培米を使用するには個別に生産農家から仕入れなければならず、安定的な供給の確保や購入価格の問題から使用することは考え

ておりませんが、地産地消の推進という観点から年二回実施しております大田原市産の食材を使用した「与一くんランチ」において、試験的に有機栽培米の使用を考えてまいります。

質問…小型の発電所の建設促進について伺います。

答弁…地域産業創出の実現を目指し、調査研究をし最大限の協力をしてまいります。